



学校長だより

No. 8 (平成 29 年 12 月 22 日)



ともかくも あなたまかせの 年の暮

いよいよ平成 29 年もあとわずかとなりました。あわただしい時期を迎え、あれこれ考えても仕方がない、ありのままに年の瀬を迎えようと詠んだ一茶の心境がよくわかる今日この頃です。

さて来年は戌(犬)年ですね。犬は忠実で親しみ深い動物として人との付き合いも古く、1 万年以上も前から人とともに暮らしていたと言われていいます。一方、猫は自由気ままで忠誠心は薄いというイメージですね。こちら犬ほどではありませんが、人とは古い仲で、穀物をネズミから守るために飼いだしたのが始まりと言われています。現代においても、犬も猫もペットとして愛され続けていますが、私はどうしても猫が好きになれません。それは、幼少のころ飼っていた伝書鳩が生まれて間もない雛とともに猫に襲われ、悲しみに暮れていたことを思い出すからです。子どものころに犬に噛まれ、生死をさまよった勝海舟は、大人になっても犬を見ると震えていたとか・・・身近な存在だけに、まつわる話が尽きることはありません。ともあれ、来る平成 30 年はいいい年にしたいものです。みなさまよいお年をお迎えください。



確かな一歩、明日への一歩！

＜国立高知病院分校＞

11 月 22 日にミュージカル「やってみよう」がありました。演じるのはもちろん児童生徒のみなさんです。いろいろなことにチャレンジし、目的を達成するドキュメントミュージカルに、ハラハラドキドキしながら声援と拍手を送りました

＜土佐希望の家分校＞

11 月 25 日に学習発表会がありました。各学部の 3 つのステージは、どれも工夫とアイデアに溢れ、ユーモアもあり、見る人を和みの世界に誘う素晴らしい発表でした。

＜感じたこと・・・＞

共通して感じたことは、児童生徒一人一人の表情やしぐさが明らかに普段とは違い、「頑張るぞ」という気持ちが伝わってきたことです。保護者の皆さんも先生も、きっと感じていたことでしょう。この確かな一歩、確かな手ごたえは、明日への大きな一歩に必ずつながる、そんな 2 校の発表でした。



生徒も先生(教職員)も頑張ってます！

うれしい報告はまだまだ続きます。

＜生徒＞

一昨年に続いて大学合格の果報が届きました！

学 校	学 部	氏 名	内 容
高知若草本校	高等部	徳弘希伊	高知県立大学合格

ガッツと明るさとたゆめめ努力で、ついに難関を突破した徳弘さん！来春からのキャンパスライフを大いに楽しみ、将来の夢をかなえてほしいと思います。

＜教職員＞

本校の武政事務長さんが、土佐の教育功績表彰を受けられました。本・分 4 校をとりまとめ、予算面で教育の充実を支え、また、本校の耐震化や災害時のライフラインの確保など、地域の防災拠点として、安心安全な学校づくりに多大なる貢献を果たされました。この他以下の先生方が表彰を受けました。

土佐の教育実践表彰	勤続表彰
河野美知（若草本校）	藤本里香（若草本校）
山本文絵（国立高知）	山本幸彦（若草本校）
	結城素子（土佐希望の家）



全国肢体不自由教育研究協議会 in 山口

11 月 15 日から山口にて開催されました全国肢体不自由研究協議会に参加してまいりました。会場のある周南市は瀬戸内工業地帯に含まれ、石油コンビナート関係の工場が沿岸部に立ち並び、工場群の夜景は観光スポットにもなっています。この周南コンビナートの生い立ちは明治時代にさかのぼり、石炭の燃料基地が設けられたことが起源となっています。明治と言えば維新前後、長州（山口）とゆかりの深かった土佐の高知ですが、残念ながら周南市に坂本龍馬や土佐の志士の足跡を見つけることはできませんでした。

さて、研究協議会では、文部科学省の分藤調査官、筑波大学教授（元桐が丘特別支援学校校長）川間先生から学習指導要領の改訂、特別支援教育に関する最新の情報、肢体不自由教育の現状と課題について、講話がありました。肢体不自由教育の一層の充実に向けて、しなければならないことを、一つ一つ確実に進めていかねばと、身が引き締まる思いでお聞きしました。その後のポスター発表・分科会では、全国から選りすぐりの実践が発表され、ポスター発表では本校の実践（今年は小学部）が昨年に引き続き全国に発信されています。また、本協議会で紹介された、全国特別支援学校肢体不自由教育校長会が出している教育実践授業力向上シリーズ最新版に、本校の実践が掲載されるなど、若草の教育実践は着実に成果があがっていると実感しています。さらなる充実に向け、授業力の向上を目ざし、児童生徒の皆さんが生きる力をしっかりと身につける授業づくり、保護者の皆さまから信頼される学校づくりに今後とも精一杯の努力をしてまいります。